



さようなら打瀬小学校

去る 4 月 5 日、打瀬小学校では新しく開校した海浜打瀬小学校に通学する児童と、打瀬小学校に残る児童との「お別れ式」が行われた。人口の増加で街に新しい小学校ができたため、打瀬小から半分の子どもたちが、通い慣れた学校と友達を後に新しい小学校へと移った。

式は両方の小学校の子どもたちが打瀬小学校校庭できれいに二派に分かれ、ゲームなどで楽しんだ後、「打瀬小学校で歌う最後の校歌」を歌った後、さようならの挨拶を交わして海浜打瀬小学校の子どもたちがベイタウンの街を横断して新しい小学校へと向かった。

【松】

中央分離帯で赤信号になると、渡れなくなる。信号が点滅したので急ぐ新六年生と今年から海浜打瀬小学校の三浦先生。



無事到着。笑顔で迎える海浜打瀬の先生。



引率してきたのは打瀬小学校の先生。この交差点から先は海浜打瀬小学校の先生が引き継ぐ。下は早く来ないかと首を長くして待つ海浜打瀬小学校の先生がた。



海浜打瀬小脇の公園は「打瀬ふれあい緑地」

海浜打瀬小学校の脇でようやく公園らしい姿を現してきたエコパークの正式な名前がこのほど「打瀬ふれあい緑地」に決まりました。3月1日発行号でお伝えしたように、住民で組織する「幕張ベイタウンにエコパークをつくる会」では名前案の募集に応じて寄せられた住民提案を、公開の名称選定会でまず絞り込みました。その結果を打瀬小学校全児童の投票でさらに5点にま

で絞ったうえで、千葉県企業庁と千葉市に提案していました。提案段階にまで残った5点は、「エコパーク打瀬／打瀬エコパーク」「うたせっ子ひろば」「打瀬ふれあい緑地」「うたせネイチャーパーク／打瀬ナチュラルパーク」「打瀬おもしろパーク」（／の前後は類似する名前なので同一とみなしたものです）でした。

【茂木】

「エコパークをつくる会」では、「打瀬ふれあい緑地」のうち土のむき出しになっているこの部分を「エコパーク」、右手の小山を「風神山」、山のふもとの窪み（近く水が入って池になる予定）を「ふたご池」と命名しました。5月12日開催予定のベイタウンまつりでは泥だんごをつくるイベントをここで開くそうです。



コア研からのお知らせ

どんな本を収集したらいいか考えませんか？

来年3月完成予定のコミュニティ・コアの一部である美浜図書館打瀬分館（仮称）の準備が中央図書館で始まっています。係の方にうかがったところ、ベイタウンの住民にも購入図書について希望を出してもらいたいとのことです。他の図書館にある本の場合には購入しないこともあるため、できるだけベイタウンにふさわしい本を購入してはどうかと助言してもらいました。たとえば、幕張に育った椎名誠の文庫をつ

くったり、日本や世界の集合住宅史の本をそろえたりするのも、おもしろいかもしれません。どのような本を集めたらよいか私たちが考えてみませんか？ 賛同していただける方、購入図書についてのご意見のある方は、村岡（電話 274-1632 または電子メール hmura@kk.ij4u.or.jp）までお知らせ下さい。なお、購入図書の希望は6月末までにとのことです。

「幕張新都心関連本」をそろえるのも一つの手ですね



左上から順に、「幕張新都心」（早坂卓著、1997年10月）、「新都心の詩」（下村恵著、2001年4月）、「幕張 VIEW」（千葉県企業庁監、98年11月）、「造景 No.7」（建築思潮研究所造景編集室編、97年2月）、「21世紀の学校はこうなる」（千葉市立打瀬小学校編、98年2月）、「幕張ベイタウン物語」（幕張コミュニティ・フォーラム「幕張ベイタウン物語」編集委員会編、96年8月）。

コア建設工事もう一度始まる！？

千葉県企業庁は4月14日、8番街集会所でコミュニティ・コア早期整備施設建設工事説明会を開きました。工期が短く、図書館は準備の都合上早めに千葉市に引き渡す必要があることから、作業時間は(1)午前8時から午後7時(4～10月)か午後6時(11～3月)(2)日曜日は休み—を原則とするとのことです。それにしても、もう着工しているのになんで、と思ったら、仮囲いをつくって杭を打つだけだったんですね。企業庁の話では、5月には本格工事が始まっているそうです。

【茂木】



2月11日



2月18日



2月25日

街づくり研究会からのお知らせ

メーリングリスト

BaytownForum のご案内

ベイタウンにもう一つのネットワークが静かに始まっています。街づくり研究会のメーリングリストを中心とした Baytown Forum です。ベイタウンのまちづくりに興味のある方はどなたでも参加できます。ベイタウンの日々の出来事や疑問、住民活動の紹介など、自由な意見交換ができると思います。ご興味のある方は yuzo@usa.net または hmura@kk.ij4u.or.jp までどうぞ。

なるほどこんな手があった！

東の街ベイトウンニュース配布会

東の街居住者同士の、気軽な情報交換と親睦をはかる毎月の集まり“東の街コミュニティ井戸端会議(仮称)”前に「どうせ集まるのなら、来た人たちでベイトウンニュースを配ってしまおう!!」ということで始まった「東の街・ベイトウンニュース配布会」も、この5月で4回目になります。親子で参加される方も多いため、子どもたちも「何番館〇エントランスは何十〜」と必要部数を読みあげてお手伝いしたりと、元気で賑やかな配布会 & 井戸端会議を取材しました。

4月8日(日)、約20名の方たちが集会室に集まり、まずはベイトウンニュースに“挟み込み”の作業。今月の挟み込みとして「きょういくベイトウン」「育成委員会だより」「ベイトウンまつり2001」を挟むのは他の番街と同じですが、ここ東の街ではコミュニティ誌「航海日誌」と管理組合からの「ノーチラス ニュース」も挟み込んでしまうという、その合理的配慮(ひと

まとめに保管しておけて便利!)に感心しました。しかも、大人たちが子育てやフリーマーケットどうする?などの話をしながら挟み込んでいる側で、子どもたちもお手伝いするので「あっ」と言う間に作業は完了。「何番館のエントランスには何十」と読みあげる男の子の声で、大人たちは9班に分かれ、必要部数を持って担当エントランスに向かいます。この配布会の後に井戸端会議があるのですが、配布会でなごやかな雰囲気になっているので、

会議でも皆さんからたくさんの活発な意見が出ていました。

ベイトウンニュース配布会を巧みに番街のイベントとして仕立て上げた東の街、編集委員として感謝しつつ、様々な面で「一石二鳥以上の効果あり!」と、また感心してしまいました。
【浜田】



新都心学園探訪 Vol.4

昭和学院秀英高等学校・秀英中学校

文教地区に所在する昭和学院 秀英高等学校・秀英中学校は、1983年4月にまず高校が、1985年4月には中学が併設され中高6年間の一貫教育を行うようになった。現在の総生徒数は1,411名(高校863名・中学548名)である。市川市の本校に学校長がいらっしゃる関係上、今回は幕張の中・高等学校の両副校長先生にインタビューした。

昭和学院秀英中学校は大変入るのが難しいし、高校は高い進学率と聞いています。どのような教育を実践されていますか？

たしかに本校は進学校ですが、勉強一辺倒ではなく、生徒の健康な心身の育成と能力の開発を目指し、中高6年間の一貫教育の中で、よりよい教育を目指し教育内容の充実発展につとめています。具体的な特色としては、生徒の表現力を養うための作文教育に力を注いでいます。さらに本校は進学校と言われながらも多くの生徒がかなりの割合で放課後の部活動に励んでいます。英語教育にも力を入れており、高校1年の夏休みにはアメリカでの4週間のホームステイ、英米人の先生による英語の授業やLL教室の活用など、いろいろな工夫をしています。

中高一貫の教育の中での創意・工夫を凝らした教育と、昭和学院秀英中学校に入る為の受験勉強への取り組みのギャップについて

中学校の受験問題の出題は教科書中心で、受験業者などからよく

昭和秀英の試験問題はやさし過ぎると言われます。本校の選抜方式はたしかに学科試験の結果で行いますが、普通の学校の勉強をしっかりとしていればできるものだと考えています。

進学校として名高い高校として、大学受験への取り組みを教えてください。

本校の教育は人間教育であって、進学率を上げるために受験勉強をさせる進学校ではないと考えています。しかし、大学受験という現実に対処することも必要です。受験勉強の困難に挑戦し目標に向けて努力していくという観点から教育の一環ととらえ、学校としても



全面的にバックアップをしています。その結果が最終的にはほぼ100%の進学率として表れているのではないのでしょうか。

生活指導に関する考え方を教えてください。

よく「今どきの子どもは・・・」ということが言われますが、今の

子どもはきちんと周りを見て自分で判断しています。本校の生徒は、「良くあいさつをする、職員室に出入りする生徒が多い、卒業生がよく訪ねてくる。」というところに学校の雰囲気を伝えられるのではないのでしょうか!生活指導に関しては、締め付けにならないようにできるだけ規則は少なくするが、決まったものは守らせるという方針で臨んでいます。

新都心の文教地区には昭和学院秀英高等学校・中学校と渋谷幕張高校(同付属中学校)という中高一貫の進学率の高い私立校が並存している。子を持つ親として心豊かな子供であって欲しいと思うと同時に、受験という現実への対応を考えた場合、より良い教育とは何だろうかと考えさせられる。

【金】



だれもが、手軽に使える印刷機。連合会が利用者を募集！

パティオス2番街の空き店舗（こむこむ掲示板のある場所）に本年3月より、住民の誰もが使える軽印刷機が入りました。これはベイトウンでの情報公開性を高めるために自治会連合会（こむこむ）が導入したもの。政治、宗教、営利を目的としなければベイトウンの市民の誰もが利用できます。各番街のニュースレターやサークルの連絡など、これまでコピーや学校の印刷機を借りて行っていた作業が簡単になりました。しかも印刷機の使用は無料。用紙だけを用意すれば、後は下記の管理者と連絡を取り、都合のいい日時を打ち合わせて行えます。詳しくはこむこむ掲示板の使用細則をご覧ください。

こむこむ印刷機管理者：田村伸彦（#5-205 TEL:211-0095）、下川正晴（#5-201 TEL:211-0472）、松村守康（#10-612 TEL:211-6853）、砂原 正行（#8-304 TEL:211-6341）、佐藤総一（#17-214 TEL:212-5630）、内田康文（#4-320 TEL:211-0574）

不審者に注意

去る4/24（火）午前7時頃、パティオス6番街内で刃物を持った露出狂が出るという事件がありました。ナイフを持ち、女子高校生を脅したそうです。不審者をみかけたら、メッセ交番（296-0605）へ。

住む人の立場 に立った街づくり

おゆみ野（千葉市緑区）

公団では、おゆみ野地区において、住む人の立場に立った「おゆみ野方式」と呼ばれる街づくりを積極的に進めています。

その一環として昨年度、地区内の小学生との公園づくりを実施しました。

この「おゆみ野ふれあい公園」では、現在小学生と地域の住民による維持管理が行われていますが、これは単に小学生のアイディアを取り入れた公園づくりをしたというだけでなく、その後も地元の住民に公園の維持管理を通じてふれあいが生まれ、コミュニティが広がっていく、といった効果を街にもたらしました。

この取り組みが評価され、当地区は「第1回対話型行政推進大賞（旧建設省主催）」を受賞しています。

また現在も、住まい手参加による新生活空間提案型街づくり「おゆみ野モデル地区プロジェクト」、千葉市緑区との共同による「おゆみ野遊歩道フォトコンテスト」など、地域に密着した様々な活動が行われています。



都市公団

賃貸住宅のお問い合わせは
総合募集センター津田沼案内所
TEL：047-478-3711
公団住宅の駐車場のお問い合わせは
日本総合住生活（株）千葉支店



今年の夏もプール開放

4年目を迎えたプール開放、今年は打瀬小学校のプールを使って行います。もちろん、海浜打瀬小学校のみんなも参加できます。年々親子での参加が増え、「親子開放」の夢が実現されてきました。今年もたくさんの親子参加をお願いします。また、このプール開放は住民ボランティアによるものです。準備や監視などの運営には住民の皆さんのご協力が不可欠です。ご都合のつく方は2、3回でもご協力ください。日程や具体的な内容はパティオス4番街の鎌田（TEL/FAX:211-0459）へご連絡いただくか、2番街のこむこむ掲示板をご覧ください。小学生の受付は7月初旬に両方の小学校で申し込み用紙を配布します。

■東京・有明の国際展示場に行ってきました。国際ブックフェアですね。子供はまんが立ち読みに味をしめて、また来年も行きたいと言ってます。わたしも収穫ありました。ほしくてオンライン書店で注文したものの、在庫なしで結局買えなかった本を手に入れられたこと。「スクールウォーズ」の原作本んで、子供のレベルとあんまり変わりませんが。

茂木俊輔（#7-301/T&F:211-1066/m38032@pp.ij4u.or.jp）

■「相乗効果」とは、複数の要因が重なることによって、それら個々がもたらす効果の和以上を生ずることを言うが、駅前にアウトレットが出来たことで、長年駅前で頑張ってきた「ブレナ」も売上が伸びているらしい。地元の住民としては駐車場を探すのが大変で、“出かけたついでにブレナの本屋でちょっと買い物”が難しくなったが、意外な波及効果に喜ばしい限りである。

金一剛（#3-220/T&F:211-0388/ikkim@xa2.so-net.ne.jp）

■久しぶりに打瀬中学校に行く事があり、ある教室の窓から外を見てびっくり！2年前に何も無かった所に海浜打瀬小学校が建ち、新しいパティオスも建設中なので、風景がまるっきり変わっていたのです。当たり前ですが、見る角度が変わった事で初めて気付く事もありますよね??マリンデッキでの可愛いペットちゃんのマーキングも…場所をかえてデッキ下を通って見ると「もしや、この水滴は!?!」と頭上の水滴にドッキリすることも!!…いつもと違う場所から、街を見てみて…そしていろいろな事に気付いてください。

浜田貴代子（公園東の街/atmark@pop01.odn.ne.jp）

■前号でペットの特集をやりましたが、本当に最近犬を連れた人たちが増えているように感じます。それも「おじさん」（失礼!）と犬の組み合わせが多い。ある人に聞いたところご主人が定年になったら犬を飼うとのこと。なぜかという、定年後散歩に行くにしてもおじさん一人だと怪しまれるからだそうで、犬と一緒にだすとんなり街の風景にとけ込めるからだとか。それはともかくとして、健康にもいいし、犬を通じて他の人とふれあう機会もあり、いいこと尽くめ。ただし、マナーだけは忘れなく。佐藤則子（#3-310/T&F:211-0090）

■本号の記事でも扱っていますが、コアにできる図書館の蔵書をめぐっての議論が盛んです。本と云えば、ベイトウン在住の方には本の出版をと考えて原稿を書き溜めている人が何人か居られます。職業関連のものや自叙伝的なものなど様々ですが、街作りや子育てに関するものなど、この街につながりのある本なら、街の中で読者を得ることも難しくないように思います。ベイトウンニュースは素人集団で全国規模の出版のお手伝いはできませんが、誌上で本を紹介して街で流通させることや、編集や印刷に関して知恵を貸すなどのことならできそうです。そのうちヒット作を扱えばベイトウンニュースも出版事業に参入できるかも。それは冗談として、ニュースの活動のひとつとして検討してみたいと思っています。

松村守康（#10-612/T&F:211-6853/m-matz@mxq.mesh.ne.jp）

**ベイトウン
お店物語 4
セオサイクル
(4 番街)**

私事ながら、このベイトウンの第一期に入居してから、自転車を2台盗まれた。そのときのショックから立ち直れず以来自転車ナシで頑張ってきたが、外が暖くなり新緑が芽吹き始めると、にわかに自転車が欲しくなってきた。今回はそんな私情もあり、街の「自転車屋さん」として親しまれているセオサイクルにうかがった。

店内に一步足を踏み入ると、形も色も実に様々な自転車が所狭しと並べられている。大きく分けると、いわゆるママチャリと言われる「一般車」と「スポーツ車」。「スポーツ車」のなかには、マウンテンバイク、小型の折りたたみ自転車、ロード用自転車、BMXが含まれる。売れ筋はやはりマウンテンバイク。最近曲乗りが楽しめるBMXも若い人を中心に人気だとか。

この店は特にロード用自転車に力を入れており、品数が豊富で遠くからも足を運ぶお客さんも多い。また「セマスレーシング」というお客さんたちで作るロードレースクラブのサポートもしており、店長の黒木慎介さんもメンバーである。ロードレース？という方は「ツール・ド・フランス」を思い浮かべてもらうとわかりやすい。

毎週日曜日早朝、交通公園で練習しているメンバーの姿を目にした方もあるかもしれない。ロードレースの楽しさは？と聞いてみると、「駆け引きですね。相手の体力を見たり、仕掛けてくるタイミングを測ったり…この話になるとキリがありませんよ（笑）」と黒木さん。

このベイトウンは他の町に比べ自転車好きな人が多いらしい。道が整備され、走りやすい環境が整っているというのも理由の一つだ。海岸沿いのサイクリングロードを通ってらばーとまで足を伸ばす



人もあるとか。「自分の力で遠くまで行ける楽しさ」「空気感を感じる爽快さ」に加え、「自転車に自分で手を入れる（改造する）楽しさ」も自転車の魅力だ。お話をうかがううちに忘れかけていた自転車に乗る楽しさがよみがえってきた。

そこで、さっそく自転車選びのコツをうかがってみる。「ジャストサイズを選ぶこと」という返事が即座に返ってきた。大き過ぎたり、小さかったりすれば、どんな高価な自転車も乗りにくい。

最近流行のマウンテンバイクも、街で乗ることが多い人は最初から街乗り用の細いタイヤに変えると、路面抵抗が少なく“速く軽く”走れるそう。サイズと目的に合わせて選ぶことが大切なのだ（たとえば、大きな買い物カゴをつけたい人は一般車がおすすめ）。「ギアが使いこなせるようになると、楽しさが全然違います。坂道は軽く、追い風では重いギアでスピードを満喫したり」との熱のこもった説明に相づちを打ちながら、私の頭のなかにはかっこいいマウンテンバイクで颯爽と走る自分の姿がちらついていた。【佐藤】



プロの知恵「教えて！」

・ベイトウンの塩害に対抗するために、月に1回ほこりを拭いてあげると錆がつきにくく長持ちする

・盗難防止のため鍵は二つかける。ワイヤーはなるべく太いものを（自転車が高価かどうかではなく、盗みやすい自転車がねらわれるとのこと）。

◆セオサイクルでは無料でコンプレッサによるタイヤの空気入れ（セルフサービス）ができます。

◆問い合わせ先：043-211-0015

ホテル ザ・マンハッタンがモニターを募集

ホテル ザ・マンハッタンが地域密着型の新しいホテルのスタイルを目指して、幕張ベイトウンニュース読者限定のモニターを募集しています。2カ月に一度のホテルの食事や宿泊を行い、モニターとして意見を出すことでホテル運営の企画立案に参加できるエキサイティングなプランです。ベイトウン市民ならではの特典、トライしてみては。

対象： ベイトウン在住の女性（30代～60代まで）8名様限定

実施時期： 2001年6月より1年間

内容： ランチ・ブッフェ、宿泊、テラス、サント・ノーレ、ベラ・ルーサなどの無料利用（隔月）とティーミーティング（隔月）によるホテル担当者とのディスカッションおよびレポート提出。

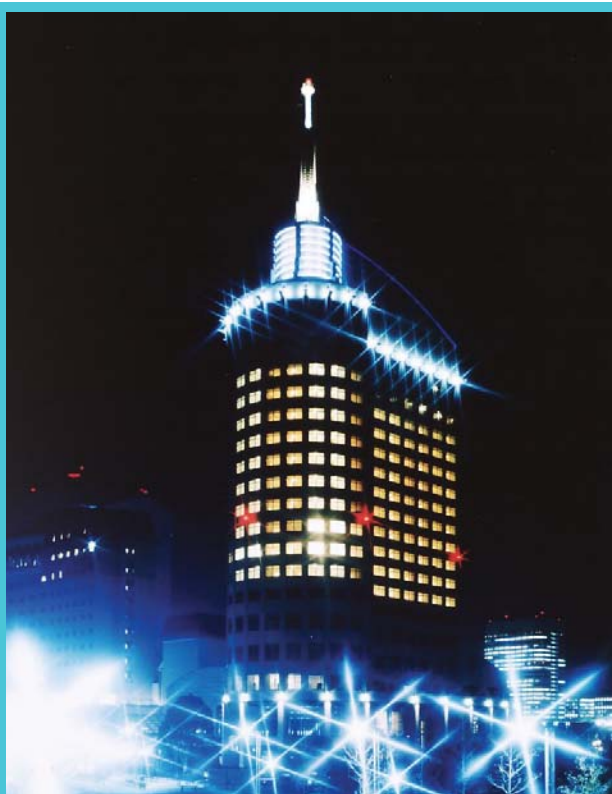
応募： テーマ作文「私のホテルライフ」（字数は自由）を添付し、お名前、連絡方法を明記して封書にて郵送でお申し込みください。

応募期限： 5月20日（日）消印有効

宛先： 千葉市美浜区ひび野 2-10-1

ホテル ザ・マンハッタン 営業企画 小野宛（電話：043-275-1111）

発表： ホテル ザ・マンハッタンから通知します。



新しく3名の教員が加わりました。

千葉市立打瀬中学校長 石原 通男

いつのまにかすっかり新緑の季節となりました。

4月6日に、115名の新入生を迎え、全校生徒数297名、全校9学級の編制で平成13年度がスタートし、およそ一ヶ月が経ちました。2・3年生は申すまでもなく、1年生もすっかり中学校生活に慣れ、学習にスポーツに元気に取り組んでおります。

さて、海浜打瀬小学校がこの4月に開校し、この街も二つの小学校と一つの中学校となりました。これまで、本校生徒の学校生活の一端を「きょういくベイタウン」の誌面をお借りし紹介させていただいてまいりましたが、これからは三校からの教育情報の提供となりますので、本校からの掲載内容はこれまでより量的に少なくなるものと思われます。しかしながら「きょういくベイタウン」へはこれからも記事を寄稿いたしてまいりますので、これまで同様本校の教育に対しましてよろしくお願いいたします。

平成12年度末の定期異動に伴う本校職員の転出者につきましては、

「きょういくベイタウン(第23号)」でお知らせいたしましたので、皆様すでにご存じのことと思います。本号では、新しく本校に着任いたしました教員を紹介いたします。

学級数が増えたことと教務主任の鈴木教諭が転出いたしました関係で、数学科で2名、国語科で1名の計3名の教諭が加わりました。3名とも教職経験は15年を超えるベテランであります。教育への情熱と指導力ある教員でありますので、どうぞよろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

自己紹介

2年C組担任

小川 好信

この度土気南中学校より、転任してきました。教職歴17年目です。校舎配置・授業方式・生徒達の学校生活等わからな

いことが多いのですが、よろしくお願いいたします。

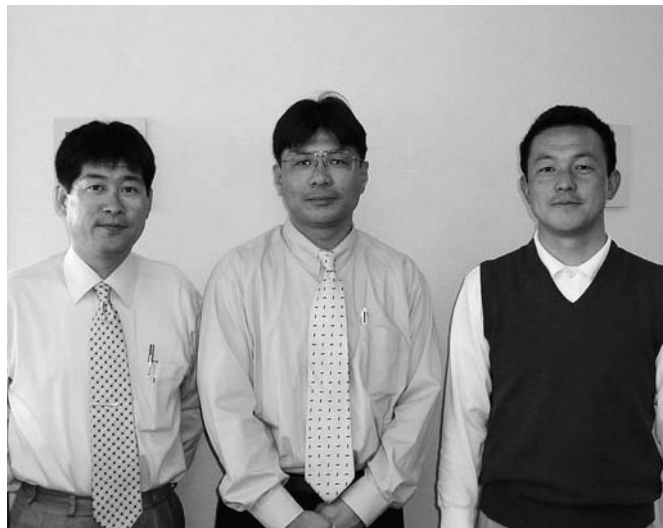
1年C組担任 屋代 健治

はじめまして、この4月に千葉大付属中から転任してきました。今年の目標は、新入生よりも早く学校に慣れることです。どうぞよろしくお願いいたします。

1年副担任 関 智之

土気中学校より、赴任しました関智之です。担当は数学です。打瀬中学校に新たに加わりましたので、気持ちも新たにしてみんなと頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

写真左から 小川・屋代・関



やさしさいっぱい「あったかハート」

—館山・九重からのお土産話—千葉市立打瀬小学校長 岡本 利—

館山市九重。三方を山に囲まれた、今でも稲作、酪農、果樹・花卉栽培等の農家の少なくない農村地域にある九重小学校。110年の歴史を有する“村の小さな小学校”から持ち帰ったあったかなお土産話をお届けします。

昨年12月、ある日の夕刻、中年のご婦人の声で一本の電話が九重小に入りました。
「今時、こんな子もいるんですね。嬉しくて…感激して…、電話をしました」とのこと。ご婦人の電話での話と、翌日、当該者の児童から聞いた話を総合すると次のような出来事がありました。

12月、雨の中の下校途中の出来事です。6年生の男の子が、自動販売機の前で飲み物を購入しようとしている一

人の年配のご婦人を見かけたそうです。傘を差さずに、雨に濡れながら販売機の前に立つ、その見ず知らずのご婦人に、男の子は「濡れてしまいますよ」

と声をかけ、そっと傘を差しかけたそうです。買い求めた缶を手にしたご婦人は、「ありがとう。(お礼に)この缶コーヒー飲みなさいよ」と、その中から1本を彼に差し出したそうです。男の子は「(折角ですけど)学校の帰りだから結構です」と答えたところ、「それじゃあ、家に帰ってから飲めばいいじゃない」と言われ頂戴することにしたそうです。そして、「おばさん、風邪ひかないでね」と声をかけて別れたとのことでした。

男の子は、住まいや名前を聞かれたが答えず、学校名と学年だけを教えたため、学校へ電話があったのです。

「いい話だね。こんな話を聞くとほんとに嬉しくなるね」
「“おばさん、風邪ひかないで”なんて、泣かせるよ」

「それに、名前を言わずに立ち去ったところが格好いいよね」

「うん、“名乗るほどの者ではござんせん”，まるで三度笠の世界（？）だよ」

ちょっぴり茶化した言葉なども飛び出て、翌朝の職員室の中はいずれの顔もニコニコ。

3世代同居の多い農村地域の素朴な子供の一人が、さりげなく示してくれた「あったかハート」でした。

本校の教育目標は『きりりかがやく子の育み』です。一人一人の個性を大切にし、それぞれの子供たちがよさ

を目一杯伸ばしていってくれることを願って教育活動を進めているところです。

しかしながら、この一人一人の“かがやき”は、市民としての基本的な社会規範をわきまえた行動様式や、社会の中でともに支え合う温かい心に裏打ちされたものでなければならないでしょう。家庭で、地域で、学校で、さまざまなふれあいの中から、子供たちに「あったかハート」を育んでいきたいものだと考えます。

私こと、4年ぶりに打瀬小でお世話になることになりました。地域の皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

一人一人を大切にした学校教育の創造

千葉市立海浜打瀬小学校長 星 忠男

学校の佇まいが何もかもざん新で、多様な空間には、心のゆとりさえ感じることができます。

4月2日に、29名の全職員が海浜打瀬小学校に着任し、次代を担う一人一人の子どもを大切に、「ゆとり」と「温もり」と「潤い」のある学校を創造することを確認し合いました。そして、お陰様をもちまして開校式、始業式、第1回入学式、保護者説明会という大きな行事が無事に終了し、落ち着いた中で「確かな学び」の活動を展開しているところでございます。

その間、保護者や地域の方々からは、心温まる励ましのお言葉やお手紙をたくさん賜り感激しております。また、子どもたちの素直で明朗・誠実な、そしてきちんとした態度等に接してとてもたのしく思い、この打瀬の街で、すばらしい子どもたちや皆様方とともに、集い学びができることに身の引き締まる思いと同時に幸せを感じている毎日です。

私の好きな言葉のひとつに

「己の欲する所これを人に施せ」（4月21日・全校朝会で講話）という言葉があります。それは、深いやさしさや思いやりの気持ちを他の人に示し、人を大切にしてくださいという教えの言葉です。社会がどんなに変化しても、いろいろな個性を持った人々と共に生きようとする、お互いを大切にする豊かな人間関係は「時代を超えても変わらない」21世紀の国際社会を支える基盤であると考えております。やさしさや思いやりの心から、強い心の結びが生まれます。

497名の子どもたちとその保護者、そして地域の方々との信頼という心と心の絆の糸が強くなりますように、29

名の全職員が、誠心誠意努力してまいりたいと存じます。

次に、学校経営の基本的な考え方は、教育は人であり、教育は不断の地道で素朴な思いやりの温かい心と心の営みであります。基礎・基本の徹底や個性の伸長は、常に一人一人の子どもをしっかりと見つめ、子ども一人一人を大切にしたい日々の「わかる授業」が基盤になります。授業の中で、人と人とのつながりやかかわりを大切にしながら、子ども一人一人が持っている多様なよさを引き出し、よさを生かし伸ばしていきたいと考えております。

どうか、海浜打瀬小学校に対して、皆様方の温かいご支援・お力添えの程をよろしくお願い申し上げます。



海浜打瀬小学校全職員